

# USB電源くん

## ハイパーツイン

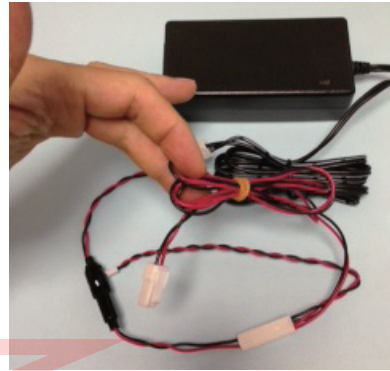
### 取付説明書



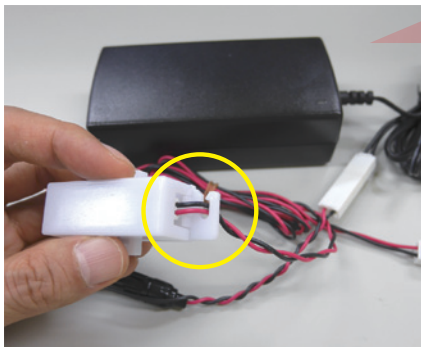
## ケーブル接続方法



電源にヒューズ線を接続します。



ヒューズ線に渡り線を接続します。



渡り線の枝線にヒューズ BOX 接続します。

※黄丸の様にフックに通して抜け防止して下さい。

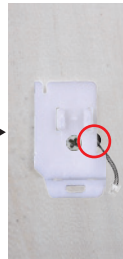


ヒューズ BOX にLEDトップを接続し完成です。

## 取り付け方法及び、取付場所（ベース板と本体）



ベース板裏の両面テープを剥がします。



貼り付けた後、ビス止めします。  
※配線を穴に通す場合は貼る前に通して下さい。



本体を1cm上から被せ、下へスライドします。



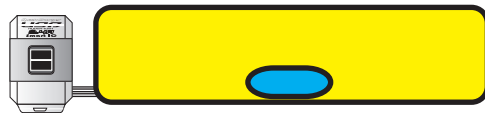
カチッと音がするまで下へスライドさせて下さい。



完成

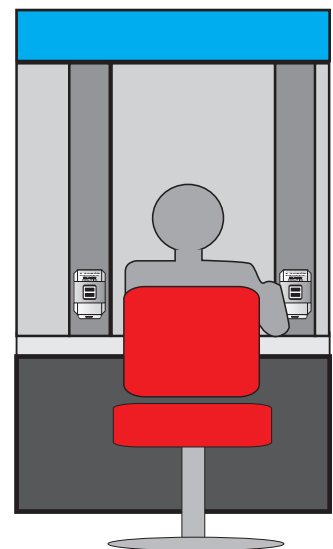


間柱や、分煙ボードキット面等



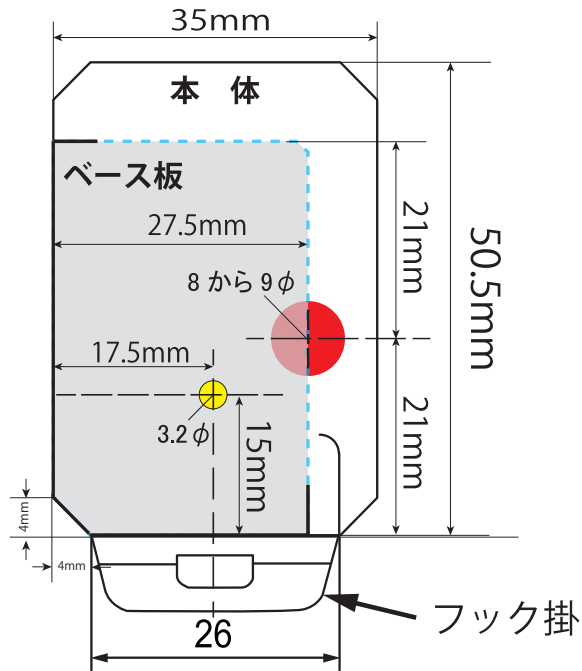
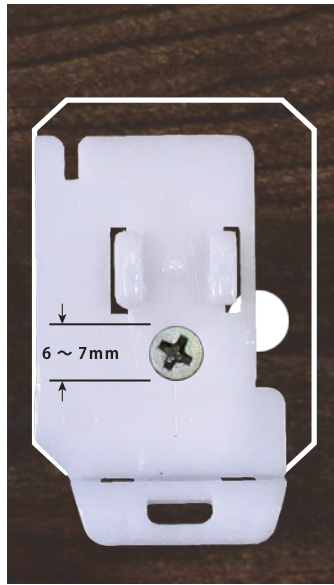
呼び出しランプ横

取り付け面がステンレスやツルツルしたフラット面の場合は両面テープのみでも強力に接着されますが、取り付け面にヤニや汚れがある取れやすくなります。貼る前に必ず取り付け面をアルコールで良く拭いて下さい。ただ、熱等ではがれやすくなる為、出来ればビス止めをお願いします。



# 穴あけによる取り付け方

※貼り付け面の貫通穴から配線を逃がす場合



上の図を参考に線通しの穴位置を決めて下さい。

- 穴開け後（上図赤丸）配線をしてからベース板を取り付けます。

※8Φから9Φ(mm)の穴で通りますが、貼り付けた後からでは通らない場合があります。

どうしても貼り付け後に通さなければならない時は、外から穴が見えない程度に大きく開けるか若干外目にずらせて開けてください。

この時、必ずテスト付けして確認して下さい。

- 穴の位置は、上図の赤丸位置がベストですが、青点線の範囲内に穴中心が来れば問題ありません。ただ、横から穴が見えやすくなりますので、確認してから穴開けして下さい。
- 上図の黄色○はビス止め用の穴です。取付面がステンレスの場合は下穴を開けてからビス止めして下さい。ベース板が割れる恐れがありますので加減して下さい。
- ビスの径は2.5mmから3mmで皿ビスを使って下さい。皿の最大径は6mm～7mmです。



※呼び出しランプ横や幕板下部等に貼り付けて、穴を開けずに配線する場合、左図の配線止めを利用して下さい。

# USB 電源くんHT仕様

ACアダプタ（駆動用電源 ※USB 電源くんHT 5台に1台必用）  
※営業時の稼働状況に合わせて削減は可

入力：AC 100V・・・出力：DC 12V 5A

USB 電源くんHT 本体（出力部）

入力：DC 12V

出力：USB 電源規格 DC 5V 2.4A（12wまで）

出力ポート数：2ポート（合計で2.4Aまで）

※iphone6系、ipad air(2.4A) 急速充電可

※android 機 2.4A MAX での急速充電可

※その他 USB 充電可能なゲーム機及び携帯電話

注）純正以外の一部のケーブルではアンペアが下がったり  
充電できない場合があります。

## 機器構成

LED・・・フルカラー 日亜化学株式会社製（国産）

※通常時（青色）、充電時（赤色）、急速充電時（緑色）※約1A以上

USB コネクタ・・・2.4A 許容（2ポート共）

ヒューズ・・・スマートフォン等へのダメージ極減用（国産）

ケーブル・・・2.4A以上の耐性

※USB 電源くんHT の開発及び製作、組み立てはすべて日本国内

## 保護対策概要

コントローラ・・・（本体に内蔵）異常電圧及び回路損傷による過電圧を保護

個別ヒューズ・・・さらに各台のケーブルにヒューズを設けて危険回避しています。

ACアダプタ・・・渡りケーブル等のショートによる破壊、燃焼被害を回避するため、  
電源内ヒューズに加えケーブル間にももう一つヒューズを設置して、  
ダブルで回避しています。

## ※寸法

ACアダプタ外形（W115×H38×D54 ※メーカー変更により随時変更有。）

USB 電源くんHT 本体（W35×H50.5×D36）

ベース板（W27.5×H42×D6）

### 【ケーブル類】

ACアダプタヒューズ線（20cm）

渡りケーブル（電源渡り部 80cm ： 枝線 20cm）

USB 電源くんHT 本体 - ヒューズ BOX 部（120cm）